





# 福井市水道事業ビジョン 2020【2024 中間見直し版】 フォローアップ(令和6年度)









福井市水道事業ビジョン 2020【2024 中間見直し版】における各種施策や数値目標の達成状況について、令和6年度末時点における進捗状況を検証しました。

### 各種施策の進捗状況

### 基本目標1【水質管理の強化】

- 〇水質検査計画に基づく水質検査の実施: 179 成分
  - ※北陸3県の水道事業体で唯一、水道GLP(日本水道 協会が、水質検査に精度と信頼性を保証する認定制度) を取得しています
- ○配水池の清掃、水道管の洗管作業を実施
- ○鉛製給水管の解消を推進(R6 布設替件数:329 件)

<水道GLP認定証>

## 基本目標2【安定した水道水の供給】

- ○安定した水源確保のため、井戸の揚水試験や水質検査を実施 :52 箇所
- ○漏水調査の実施 : 477 km
- ○原目配水池の流量圧力調整設備を更新
- ○無ライニング鋳鉄管(※)を更新 : 3.0 km
- ※無ライニング鋳鉄管とは、管の内面に防食対策 が施されていない鋳鉄管

#### <水道管の布設状況>



### 基本目標3【水道施設の耐震化】

: 九頭竜浄水施設更新について、官民連携 ○浄水施設

導入可能性調査を実施(DB 方式に決定)

〇配水池 : 原目配水池更新工事着手(DB 方式)

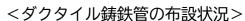
○重要給水施設配水管 : 223m更新

○基幹管路 : 川西送水管 1,311m更新

> 江端送水管 624m更新

その他導送配水管 362m更新

<ダクタイル鋳鉄管(※)の耐震性>







※ダクタイル鋳鉄管(GX)とは、100年を超える使用が可能な高い耐震性を 有する管のことで、本市では平成23(2011)年から採用しています。

### 基本目標4【災害対策の強化】

○応急給水体制の強化:給水コンテナ10基を追加確保

○訓練の実施:BCP訓練(風水害訓練1回、地震訓練1回)等

<BCP訓練(風水害)>



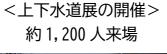
<BCP訓練(地震)>



## 基本目標5【お客様サービスの向上】

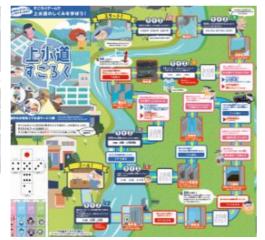
- ○水道料金におけるスマートフォン決済の継続実施
- ○水道事業に関するPR、情報発信

<上下水道のミカタの発行> 年3回 全戸配布





<上下水道すごろく配布> 配布枚数:約1,400枚



### 基本目標6【経営基盤の強化】

〇企業債残高の縮減額 : 約1.8億円

- ○簡易水道事業の統合による効率化
  - ・下味見地区簡水事業の R8 統合完了に向け、西河原配水池等を築造

### 基本目標7【人材の育成】

〇局内技術研修センターによる研修 : 11研修

(給水車運転操作、非常用貯水装置操作、漏水調査に関する研修会等)

〇日本水道協会主催による研修への参加: 5研修

(水道技術者ブロック別研修会、水道技術管理者研修会、事務講習会、技術講習会、技術技能研修)

<給水車運転操作研修会>





<非常用貯水装置操作研修会>



## 基本目標8【環境負荷の低減】

○建設副産物のリサイクル率 : 58.0% (目標値 50%以上)

○浄水発生土の有効利用率 : 100.0% (目標値 100%)

〇配水量1㎡あたりの電力消費量:0.41KWh/㎡(目標値 0.40 KWh/㎡)

### 2 各種指標の推移と達成度評価

### 評価 (=R10目標値達成の見込み)・・・ ◎: 極めて高い ○: 高い △: 低い

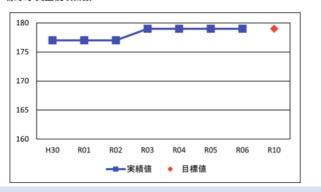
#### No. 1 原水水質監視度

### 評価:◎

(単位: (香口)

								(単位:1	貝目)
	类 25+P+量(DI)				実績値				目標値
業務指標(PI)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10
	原水水質監視度	177	177	177	179	179	179	179	179

※原水水質監視度=原水水質監視項目数

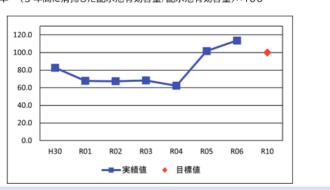


#### No. 4 配水池清掃実施率

評価:〇

								(半位・/0)	
業務指標(PI)	実績値								
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10	
配水池 清掃実施率	82.8	67.8	67.4	68.3	62.3	101.6	113. 7	100	

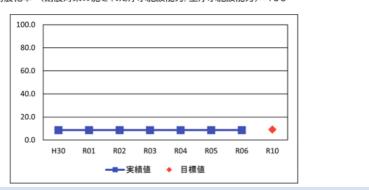
※配水池清掃実施率= (5 年間に清掃した配水池有効容量/配水池有効容量)×100



#### No. 7 浄水施設の耐震化率

								(単位:%)	
業務指標(PI)	実績値								
未伤拍信(P1)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10	
浄水施設の 耐震化率	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	9.1	

※浄水施設の耐震化率=(耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力)×100



#### No. 2 給水栓水質検査(毎日)箇所密度

業務指標(PI)

給水栓水質検査

(毎日)箇所密度

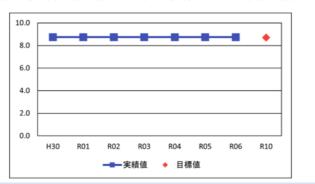
H30

8.7

評価:◎

						(単位:箇所	/100km <sup>2</sup> )
			実績値				目標値
)	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10
,	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7

※給水栓水質検査(毎日)箇所密度=(給水栓水質検査(毎日)採水箇所数/現在給水面積)×100



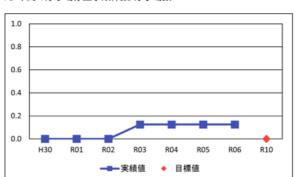
#### No. 5 浄水場事故割合

評価:△

(単位:件/10 年·箇所)

業務指標(PI)	# 攻+ы=(DI)	実績値								
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10		
	浄水場事故割合	0	0	0	0.13	0.13	0.13	0.13	0	

※浄水場事故割合=10 年間の浄水場停止事故件数/浄水場数



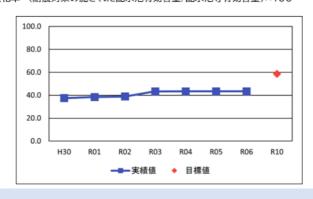
#### No. 8 配水池の耐震化率

評価∶○

(単位:%)

							,	1 1-2 / 4/	
类交长槽(DI)	実績値								
業務指標(PI)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10	
配水施設の 耐震化率	37.5	38.4	38.8	43.4	43.5	43.5	43.5	58.6	

※配水池の耐震化率=(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100

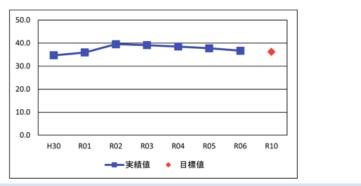


#### No. 3 鉛製給水管率

評価:〇

									(単位:%)
	業務指標(PI)	実績値							
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10
	鉛製給水管率	34.7	35.9	39.5	39.1	38.5	37.8	36.7	36.2

※鉛製給水管率=(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100



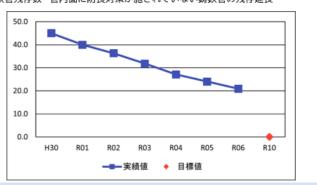
#### No. 6 無ライニング鋳鉄管残存数

評価:〇

(単位:km) 目標値

		実績値								
_	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10		
無ライニング 鋳鉄管残存数	45.0	40.0	36.3	31.8	27.1	24.0	20.9	0		

※無ライニング鋳鉄管残存数=管内面に防食対策が施されていない鋳鉄管の残存延長

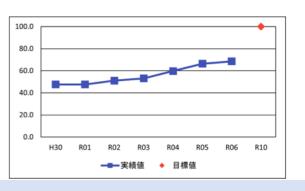


### No. 9 重要給水施設配水管路の耐震管率

評価・〇

							( 4	型位:%)
業務指標(PI)	実績値							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10
重要給水施設配水 管路の耐震管率	47.6	47.6	51.1	53.1	59.7	66.4	68.5	100

※重要給水施設配水管路の耐震管率=(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長)×100



### 各種指標の推移と達成度評価

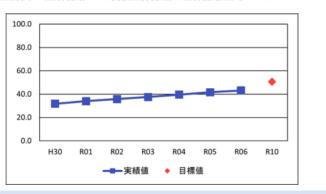
#### No.10 基幹管路の耐震適合率

### 評価:〇

(単位:0/)

								(+12.70)
業務指標(PI)	実績値							目標値
未務拍標(PI) H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10	
基幹管路の 耐震適合率	31.8	34.0	35.8	37.5	39.6	41.7	43.2	50.6

※基幹管路の耐震適合率=(基幹管路のうち耐震適合管延長/基幹管路延長)×100

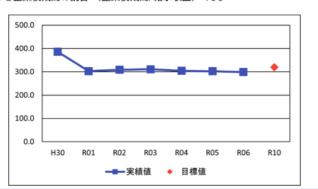


#### No.13 給水収益に対する企業債残高の割合

#### 評価:◎

								(-)	FIX. 707
	業務指標(PI)	実績値							
美扮指標(PI)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10	
	給水収益に対する 企業債残高の割合	386	303	309	311	304	303	299	320

※給水収益に対する企業債残高の割合=(企業債残高/給水収益)×100

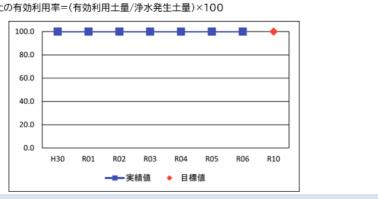


#### No.16 浄水発生土の有効利用率

#### 評価:◎

							(単	单位:%)
業務指標(PI)				実績値				目標値
未捞拍标(P1)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10
浄水発生土の 有効利用率	100	100	100	100	100	100	100	100

※浄水発生土の有効利用率=(有効利用土量/浄水発生土量)×100



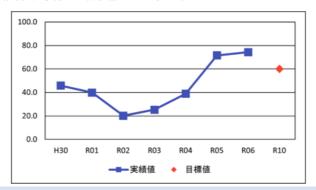
### 評価 (=R10目標値達成の見込み)・・・ ◎: 極めて高い ○: 高い △: 低い

#### No.11 水道施設見学者割合

評価:〇

(単位:人/100										
業務指標(PI)				実績値				目標値		
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10		
水道施設 見学者割合	45.8	39.9	20.1	25.3	38.8	71.5	74.3	60		

※水道施設見学者割合=見学者数 / (現在給水人口/1,000)



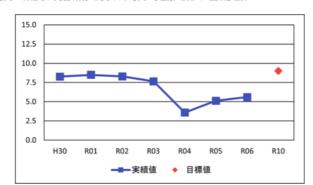
#### No.14 内部研修時間

#### 評価:△

(単位:時間/人)

## 264FFTEE ( D.1 )	実績値								
業務指標(PI)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10	
内部研修時間	8.3	8.5	8.3	7.7	3.6	5.1	5. 6	9	

※内部研修時間=(職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数

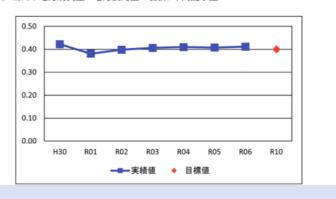


#### No.17 配水量1㎡当たり電力消費量

### 評価:◎

						,	(単位·KWN	/m3)
業務指標(PI)	実績値							
未務拍标(P1)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10
配水量1m3 当たり 電力消費量	0.42	0.38	0.40	0.41	0.41	0.41	0.41	0.4

※配水量 1m3 当たり電力消費量=電力使用量の合計/年間配水量



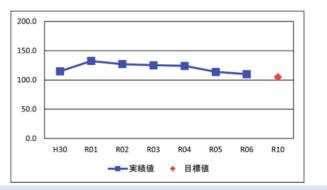
#### No.12 経常収支比率

評価:◎

(単位:%)

	(+12:70)											
業務指標(PI)	実績値											
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10				
経常収支比率	115	132	127	125	124	114	110	105				

※経常収支比率=(経常収益 / 経常費用)×100



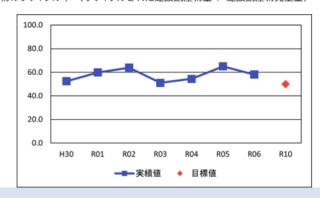
#### No.15 建設副産物のリサイクル率

評価:◎

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値									
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R10		
建設副産物の リサイクル率	52.3	59.8	63.9	51.0	54.4	65.0	58.0	50 以上		

※建設副産物のリサイクル率=(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100



### 【指標の分析】

- ・耐震化については、ほぼすべての水道施設で目標値を未 達成であることから、大規模化・頻発化する地震に備え、 計画的かつ着実に耐震化を進めていく必要があります。
- 「NO.12 経常収支比率」、「NO.13 給水収益に対する企業債 残高の割合」は、いずれも目標値を達成し推移しており、 現時点では健全な経営状態といえます。

### 【決算状況】 ※金額は百万円単位で四捨五入 ()内の数値は対前年度増減率

収益的収支:収益面では、、人口減少に伴う給水収益や加入金の減などにより、営業収益は41億4,900万円(△1.8%)となりました。

(=11070) = 0.70.0720

<福井市水道マスコット「アクア」>

また、営業外収益は5億6,600万円(+0.6%)となり、これらを合わせた総収益は47億1,700万円(△1.5%)となりました。

費用面では、修繕費や漏水補修工事に係る費用の増などにより、営業費用は41億1,800万円(+2.9%)となりました。

また、営業外費用は過年度分水道料金還付金などの減により1億7,300万円(△14.4%)となり、

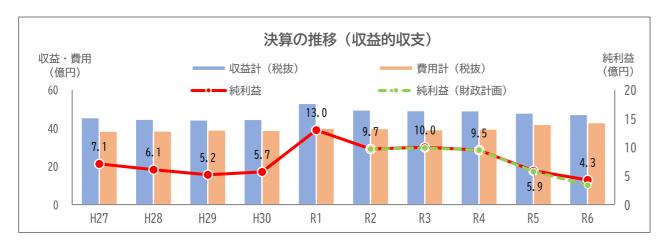
これらを合わせた総費用は42億9,000万円(+2.0%)となりました。

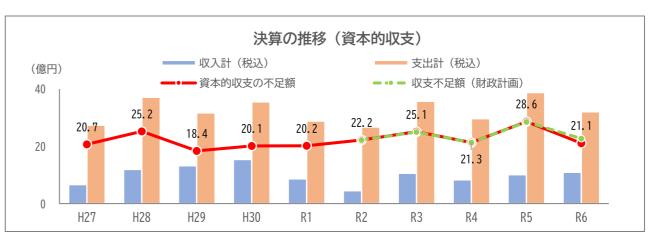
この結果、当期純利益は4億2,700万円(△26.7%)となりました。

資本的収支:収入面は、企業債の増などにより、10億8,600万円(+7.1%)となりました。

支出面では、第8次整備事業繰越による資本的支出の減などにより、32億300万円(△17.1%)となりました。

この結果、資本的収支の不足額は21億1,700万円(△25.8%)となり、留保資金や収益的収支で生じた利益等で補填しています。





### 【財政計画(水道事業ビジョン 2020【2024 中間見直し版】)との比較】

【単位:億円】

	Į	収益的収支	ξ	資本的収支			
	収益	費用	純利益	収入	支出	不足額	
財政計画	47. 6	44.2	3.4	15. 5	38.1	22.7	
R 6決算	47. 2	42.9	4.3	10.9	32.0	21.1	

- ・収益的収支については、政府の電気代補助支援に伴う動力費の減少などにより、 純利益が、水道事業ビジョン 2020【2024中間見直し版】(以下「ビジョン見直し版」 という)の計画値よりも増加しました。
- ・資本的収支については、第8次整備事業繰越による資本的支出の減少により、 資本的収支の不足額が、ビジョン見直し版の計画値よりも減少しました。